

郷土出身文学者シリーズ①

# 尾崎 放哉

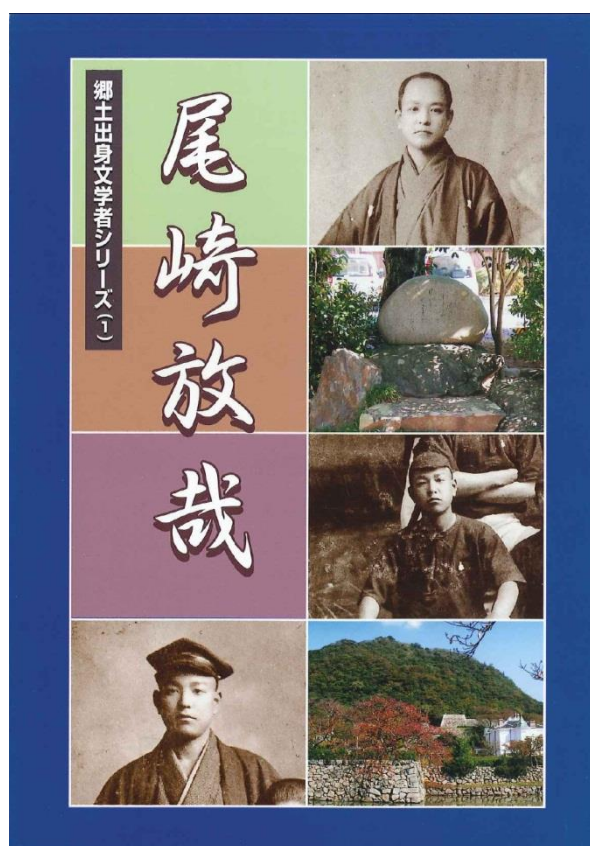
尾崎放哉（おさき ほうさい 1885～1926）は、鳥取市出身の俳人です。エリートコースを歩みながらも人生の後半は放浪の旅に出、41歳で生涯を終えました。

「咳をしても一人」「入れものが無い両手で受ける」「春の山のうしろから煙りが出だした」などの代表作をはじめ、多くの作品を発表しました。

その放哉の生涯などを紹介する一冊です。

定価 500円

A5判 62ページ



## 内容

放哉を知る

尾崎放哉の生涯

瓜生鐵二

放哉と鳥取

小山貴子

「放哉」という名の現象

見目 誠

放哉に触れるための本

放哉を訪ねる－鳥取の放哉ゆかりの地－

略年譜

執筆者紹介

## 販売場所

鳥取県立図書館 2階 郷土資料カウンター

鳥取県庁 本庁舎1階 県民室

八頭県土整備事務所建設総務課

中部総合事務所地域振興局

西部総合事務所地域振興局

日野振興センター日野振興局

編集・発行：鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町 101

電話 0857-26-8155

ファクシミリ 0857-22-2996

電子メール toshokan@pref.tottori.jp